

令和3年度山形美術館事業計画書

令和3年4月1日

-企画展-

事業の名称	事業の内容	期	備考
		入館料	
木梨憲武展 TIMING 瞬間の光り	1980年にとんねるずを結成したタレントとして活躍する木梨憲武は、一方で作家としても活動している。大胆な色使いや自由な発想で、絵画や遊び心溢れるオブジェなど多彩な作品を手掛ける木梨憲武は、ニューヨークやロンドンなど海外での個展も実現し、近年注目が高まっている。本展では、観覧会のために描いた新作の絵画を中心に、ドローイング、オブジェ、映像など約200点を紹介する。	4月2日(金) - 5月9日(日)	一般・大学生 1,500円 小中高生 800円 ※土曜と5月5日は 中学生以下無料
令和3年度国立美術館 巡回展 国立西洋美術館コレク ションによる 山形で考える西洋美術 —〈ここ〉と〈遠く〉 が触れるとき	国立美術館では、所蔵作品を効果的に活用し、広く国民の鑑賞機会の充実を図るとともに、近・現代美術振興に資する目的で、「国立美術館巡回展」を実施している。本展では国立西洋美術館のコレクションより、ルネサンスから20世紀にかけて活躍した西洋の画家たちの作品を概観する。また山形市出身の彫刻家・新海竹太郎とロダンの芸術との関わり合いも紹介。山形の地から西洋美術を概観する機会とする。	7月17日(土) - 8月27日(金)	一般 1,200円 高大生 800円 小中生 400円 ※土曜は中学生以下無料
山形現代作家展	山形にゆかりのある現代作家の中から、東北芸術工科大学修了で上山市に拠点をおき、多分野で精力的に活動する近藤亜樹に焦点をあてる。近藤の作品は自身の経験や感情を刻み込むように描き、生々しいまでのエネルギーに満ちており観るものを圧倒する。同時代性のある作品を本人の想いを交えながら紹介することで、感染症の拡大や経済の悪化など不安感が漂う今日の世界において、芸術が人間の暮らしにいかにかに不可欠かを問い直す機会とする。	11月5日(金) - 11月23日(火・祝)	一般 1,200円 高大生 800円 小中生 400円 ※土曜は中学生以下無料

事業の名称	事業の内容	期	備考
		入館料	
最上三十三観音 御開帳記念 霊地やまがた	本県には、「置賜」「最上」「庄内」の各地域に三十三観音霊場があり、2021年には「最上三十三観音連合ご開帳」が開催予定となっている。 本展はこれを記念し、新庄出身の洋画家・近岡善次郎による「最上三十三観音」スケッチの連作と、写真家・山本やす子による写真などを展示し、山形における三十三所巡礼文化としての「最上三十三観音」の魅力を伝える。	12月15日(水) - 1月23日(日)	
		一般 800円 高大生 400円 小中生 200円 ※土曜は中学生以下無料	

-3 県展-

事業の名称	事業の内容	期	備考
		入館料	
第76回 山形県総合美術展	山形県の美術振興と美術家のレベル向上を目指して毎年開催している県内最大の公募展。1946(昭和21)年6月に第1回展が開催されて以来、本年度で76回となる。日本画、洋画、彫刻、工芸の4部門で作品を一般公募し、わが国を代表する作家を各部門の審査員として招き、入選作を決定し、優秀作を表彰する。これらの作品に加え、審査員、特別出品、委嘱、無鑑査などの作品を展示する予定。併せて第63回こども県展を開催し、幼稚園から中学生までの児童生徒の絵を展示する。	9月4日(土) - 9月20日(月・祝)	
		一般 800円 高大生 400円 小中生 200円 ※土曜は中学生以下無料	
第46回 山形県総合書道展	山形県内および出身者の書家、書道愛好家から広く作品を公募し開催している本展は、1975年の第1回展開催以来、本年度で46回を迎える。県書壇の重鎮らの合同審査により、優秀作、入選作を選定し表彰する。また審査員らによるギャラリートークを通して、県書道界のなお一層の振興をはかる。	9月25日(土) - 10月10日(日)	
		一般 800円 高大生 400円 小中生 200円 ※土曜は中学生以下無料	

事業の名称	事業の内容	期	備考
		入館料	
第56回 山形県写真展	山形県内の写真愛好家に作品発表の場を提供するとともに、相互の交流と写真技術のレベルアップを図る公募展。1967年1月の第1回展の開催以来、本年度で56回を迎える。県内各地から広く公募された作品を、日本を代表する著名な写真家の審査により入賞、入選を選んで表彰する。	2月24日(木) - 3月21日(月・祝)	
		一般 800円 高大生 400円 小中生 200円 ※土曜は中学生以下無料	

-収蔵品によるテーマ展-

事業の名称	事業の内容	期	備考
		入館料	
フランス近代絵画の魅力 服部コレクション・吉野石膏コレクション	吉野石膏株式会社と吉野石膏美術振興財団より当館に寄託されている印象派を中心とした「吉野石膏コレクション」と、現代フランス絵画の巨匠たちによる「服部コレクション」は、優れた作品群として県内外問わず知られている。本展では二つのフランス絵画コレクションを通じて、19世紀から20世紀後半までのフランス絵画の多彩な展開を、6つのテーマを設け紹介する。	計画案のとおり	
		一般 800円 高大生 400円 小中生 200円 ※土曜は中学生以下無料 ※同時開催の展覧会と 統一料金	
紅花商人ゆかりの名品 長谷川コレクションを たのしもう	山形を代表する紅花商人長谷川家に伝世した「長谷川コレクション」は、重要文化財の与謝蕪村《奥の細道図屏風》をはじめ、松尾芭蕉《出羽三山短冊》、横山華山《紅花屏風》など11点の山形県指定有形文化財を含む美術品によって構成される、当館の中核をなす日本美術のコレクションである。本展では長谷川コレクションの魅力あふれる作品を、7つのテーマを設け紹介する	計画案のとおり	
		一般 800円 高大生 400円 小中生 200円 ※土曜は中学生以下無料 ※同時開催の展覧会と 統一料金	

-収蔵品展-

事業の名称	事業の内容	期	備考
		入館料	
収蔵品展	常設展 「巨匠の広場」 「新海竹太郎・新海竹蔵の彫刻」 「彫刻の小部屋」	年間通し	
		一般 800円 高大生 400円 小中生 200円 ※土曜は中学生以下無料 ※同時開催の展覧会と 統一料金	